

大井分館リニューアルオープン

明るく 広く



△広くて明るい市立図書館の大井分館で読書を楽しもう

8月2日、JR並河駅前メディアスペースにある市立図書館の大井分館がリニューアルオープン。以前と比べると面積が約2倍になり、ゆったりとした閲覧スペースができたほか、書籍を増冊するなど、大人から子どもまでくつろいで読書が楽しめるようになりました。館内は、大きな窓から日が明るく差し込み、また、新設された「親子絵本コーナー」はカーペット敷きで、靴を脱いで子どもたちと一緒に、リ

ラックスして本が読めるスペースとなっているほか、児童書を約2,000冊購入し、絵本・児童書コーナーがより充実しました。親子で利用している宮埜美紀さん(大井町)は、「子どもと一緒にゆつくりと本が読める場所ができてよかったです。本棚の配置もゆったりしているの、前より本が選びやすくなりましたね」と話されています。

そのほか、ボランティアで絵本の読み聞かせをしている「ふきのとう」や「ゆめポケット」によるおはなし会も企画されています。皆さんもぜひ、新しくなった大井分館にお越しください。

行財政改革に 全力で取り組んでいます



亀岡市は厳しい財政状況の中、第4次亀岡市総合計画「夢ビジョン」の目指す都市像を実現するために、「亀岡市行財政改革プラン2010-2014」に基づき、行政運営の効率化や財政の健全化に努めるとと

もに、市民の参画と協働のまちづくりを進めています。そのような中、市民活動団体への支援制度を多くの団体にご利用いただき、市内では市民の皆さんが中心となったさまざまな活動を展開していただいています。また、セーフティコミュニティのさらなる推進により、犯罪の件数が減少するなど、安全で安心できるまちづくり

昨年度は 9億4,600万円の成果

が広がっています。そのほか、普通財産の処分やふるさと寄附金などによる収入の拡大、さらには職員研修を充実させることにより、職員一人一人の資質を高め、より一層の市民サービス向上を図っています。その結果、平成22年度の取り組み成果は、約9億4,600万円となりました。今後も引き続き、行財政改革に職員一丸となって取り組み、未来に夢を描けるまちづくりを進めてまいります。



8月21日、ガレリアかめおかで被爆ピアノ平和コンサートを開催しました。これは、本邦平和都市」に核兵器廃絶への願いを込め、新たに「世界連邦・非核平和都市」として宣言し、1周年を記念して開催したものです。満員(約200人)となった会場では、第1部として広島で被爆された大羽睦代さんが、原爆投下直後の悲惨な体験をお話されました。第2部では、広島で被爆し翌日に亡くなった河本明子さん(当時19才)が愛用していたピアノによる音楽会を開催。このピアノは、爆風で壊れガラスの破片が無数に突き刺さっ

たまま長年保管されていたものを広島市の市民団体「HOPEプロジェクト」が譲り受け修復されたものです。会場は、山田紗耶加さんが奏でる被爆ピアノの優しい音色と歌手の皆さんの美しい歌声に包まれ、感激のあまり涙ぐむ参加者も多く見られました。本町在住の女性は、「戦時中、私も神戸で空襲を受けました。60年も前のピアノをここまで修復され、各地で平和コンサートが開かれている方々の熱意とご努力は本当に素晴らしいと思います」と話されました。亀岡市では、これからも核兵器廃絶と世界平和を願うメッセージを発信していきます。

やさしい健康講座 第五十九回



亀岡市立病院 整形外科部長 坂部智哉 専門分野：関節鏡外科、スポーツ整形、骨軟部腫瘍

我慢していませんか? 肩関節の痛み

中高年で肩関節の痛みにお困りの人は多いと思います。肩関節痛の主な原因である肩関節周囲炎(いわゆる五十肩)は関節内注射やリハビリなどの適切な保存療法を行えば、数カ月で治ることがほとんどです。しかし、肩を水平以上に上げる際に引っかけり感や伴った痛みや、夜間に目が覚めるような強い痛みが何カ月も続く場合は肩関節周囲炎以外の病気が隠れている可能性があります。従来は直視下に関節を切開する手術が行われていましたが、当院では患者さんへの負担をできるだけ少なくすることを目指して、高度な技術と特殊な器具を用いた関節鏡手術を行っています。急速に症状や肩関節機能が悪化し、関節鏡手術だけでは対応できない場合もありますので、いつかは治るだろうと肩関節痛を我慢せずに、積極的に整形外科を受診されることをお勧めします。